

米政府機関「先月は史上最も平均気温が高い1か月」

8/16(金) 13:27 配信 TBS

アメリカの政府機関海洋大気庁は、地球全体でみると、先月(2019.7)が観測史上最も平均気温が高い1か月だったとする報告書を発表しました。

NOAA(ノア)＝アメリカ海洋大気庁は15日、先月の地球全体の平均気温は、20世紀の7月の平均気温と比較すると0.95度高い、16.7度だったと発表しました。これまで最高だった2016年を0.03℃上回り、7月としては1880年の観測開始以降、最も高い数字です。

また、7月は1年のうちで最も気温の高い月とされることから、「史上最も平均気温が高かった1か月」にもなるということです。これによって北極圏と南極でも過去30年の平均と比べて氷が減少しており、その量は世界で10番目の国土面積を持つアルジェリアを上回るとしています。北極海では一日当たり10万6000平方の氷が解け、1981～2010の1.2倍の氷が失われた。7月は欧州が熱波に見舞われ、フランス、ドイツ、オランダ等幅広い範囲で40℃を超え、世界各地で記録的な猛暑になった。

気温の高い年の上位10位のうち9つが2005年以降に集中していて、NOAAは「ほぼ完全に地球温暖化の影響によるものだ」としています。(16日 06:14)